

宮崎県拠点だより



「ゆず団地」整備で後継者を確保(西米良村) ～村が主体となった取組で特産品の産地を維持～

ゆずの生産と加工が盛んな西米良村では、今後の生産振興と後継者の確保が課題でした。これを解消するため、村では平成21年にゆず団地(面積約5haで事業費の一部は県単事業)を整備するとともに、就農予定者を募集し、植付してから収穫できるまでの数年間、村の臨時職員として雇用し、ゆず園の管理に従事させることにより、栽培に必要な知識と技術の習得を行い、タイミングを見て新規就農者として就農させます。



ゆず団地



ゆず団地で頑張る新規就農者

この取組により、平成29年に2名が経営を開始、31年4月に1名が経営を開始する予定(3名ともUターン)。さらに1名(1ターン)が臨時職員として、ゆず園の管理に従事する予定です。経営開始時は、次世代人材投資資金(150万円)を活用する他、村が農林業後継者就業奨励金(100万円)を出して支援しています。

今後は、後継者が決まっていない村内のゆず園をどう活用していくのか、さらに検討を進めていく予定とのことです。

関係機関による情報共有で輸出促進を推進 ～第3回みやざき輸出促進連絡会を開催～

宮崎県拠点が事務局となり、県内関係機関を構成員(※)とする「みやざき輸出促進連絡会」(30年5月設立)の第3回を3月19日に開催しました。

この連絡会は、県内の輸出に関する情報共有や意見交換を通じて県内のより一層の輸出拡大につなげることを目的としています。

今回は、県拠点から農林水産物・食品の輸出プロジェクト(GFP)で行う登録事業者に対する無料診断の状況の他、関係機関からの取組状況の報告がありました。

(※)

- ・宮崎県商工観光部・農林水産部
- ・日本貿易振興機構(ジェトロ)宮崎貿易情報センター
- ・日本政策金融公庫宮崎支店
- ・宮崎県農業法人経営者協会
- ・九州農政局宮崎県拠点



【連絡会開催の様子】

また、輸出企業を資金面で支援している宮崎銀行を招いて、食品輸出セミナー・商談会の開催状況や海外ビジネス展開をサポート(輸出入の手続き、為替リスクの回避等)する取組について説明をしてもらいました。

【GFPとは】

農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクトのことであり、輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等をサポートしています。

GFP登録を希望する生産者・事業者は、以下からWebサイトを閲覧の上、お申し込みください。

Webサイト: <http://www.gfp1.maff.go.jp/>

「九州発！現場のお困りごと対応技術ナビ」 ～ICT等新技術を有する企業等から提供できる情報を発信～

九州農政局は管内各県等を通じて収集した「農村現場のお困りごと」に対応する技術の情報を、企業等から提供いただき、「九州発！現場のお困りごと対応技術ナビ」(略称「技術ナビ」)として取りまとめ、九州農政局ホームページで公表することとなりました。現在、「お困りごと」233件に対して企業等から技術情報の提供があり、「技術ナビ」に掲載しています。なお、今後も「技術ナビ」は、「お困りごと」の募集及び企業からの技術提供を毎年更新していく予定です。

【公表URL】

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/kikaku/gizyutunavi.html>

九州発！技術ナビ

検索



(株)ジェイエフーズみやざきが食料産業局長賞を受賞！ ～「6次産業化アワード」～

6次産業化に取り組む農林漁業者等表彰する「平成30年度6次産業化優良事例表彰(6次産業化アワード)」(6次産業化推進協議会主催)の表彰式が開催され、株式会社ジェイエフーズみやざき(西都市)が、最優秀賞に次ぐ食料産業局長賞を受賞しました。国内産冷凍野菜の需要の高まりや料理の省力化、個食化が進む中、ほうれん草の冷凍加工に着目して始めたところや、冷凍野菜・カット野菜の製造販売は自社農場の運営とともに約60戸の地元の契約農家の所得向上につながっているところが評価されました。



「株式会社ジェイエフーズみやざき」
税代表取締役専務(左から3番目)

本県から2つの事業課題が採択 ～「スマート農業関連実証事業」～

農研機構の「スマート農業関連実証事業(スマート農業技術の開発・実証プロジェクト及びスマート農業加速化実証プロジェクト)」は、近年、技術発展の著しいロボットやAI、IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の社会実装を加速化するため、先端技術を現場に導入・実証する取組を支援する事業です。

この度、応募総数252件のうち69件、うち以下の本県2事業者の事業課題が採択されました。今後これらを起点に、県内でのスマート農業の更なる波及が期待されます。

実証グループ名(代表機関)	事業課題
加工業務向けほうれん草等 スマート農業実証コンソーシアム (宮崎県経済農業協同組合連合会)	加工業務向け露地野菜における「機械化・分業化一貫体系」のほうれん草モデルブラッシュアップと水平展開の実証
新福青果スマート農業実証コンソーシアム (有限会社新福青果)	多様な人材が集う農業法人経営による全員参加型のスマート農業技術体系(大規模露地野菜複合経営)の実証

地方参事官ホットライン

TEL 0985-24-2365

FAX 0985-27-2035

本紙の記載内容等についてのご質問、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせください。

(〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17)

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来のこどもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。